

御船層群上部層の堆積相と化石の観察

熊本大学大学院教育研究科 三宅由洋

1. はじめに

平成21年10月17日に御船層群の巡検会が、御船町恐竜博物館の池上直樹先生の案内で行われた。今回の巡検会の主な目的は、御船層群上部層の堆積相と化石の観察であった。本巡検会の観察地点と、そこでの観察内容は以下に示すとおりである。

朝9時に熊本大学を出発し、はじめの観察地点である宇城市松橋町古保山(図1中,STOP1)へ向かった。目的地では、河成堆積物の露頭を観察した。

その後、御船町白岩(STOP2)で御船層上部層の凝灰岩の露頭を観察し、御船町の旧七滝小学校(STOP3)にて昼食をとった。昼食後、当地で保管されていた岩石を砕きながら小型脊椎動物化石を探した。天君ダム(STOP4)では付近の露頭から脊椎動物化石と車軸藻卵胞子化石を採集した。そして、16時頃に熊本大学に到着し解散した。

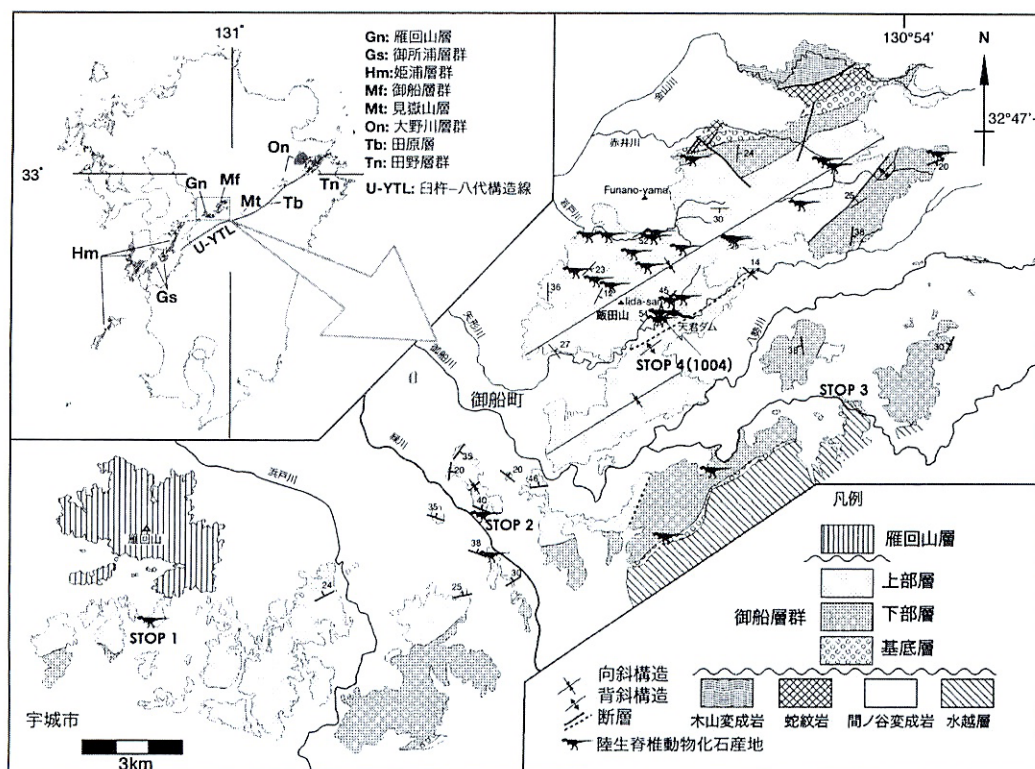


図1 御船層群の陸生脊椎動物群化石産地と観察地点(池上、2010(地質図はTAMURA, 1970)を改編)

2. 各観察地点と観察内容の報告

① 宇城市松橋町古保山

ここでは中～細粒の砂岩と赤色泥岩・暗灰色泥岩

の互層の露頭を観察した。露頭ではチャネル充填構造や氾濫原堆積物が見られ、一部の砂岩層が方向へ尖滅している様子も観察できた(写真1)。



写真1 宇城市松橋町古保山の露頭写真

② 御船町白岩

ここでは、赤色泥岩中に挟まれる凝灰岩層の観察を行った。本地点露頭の上部には火山豆石がとれる乳白色の凝灰岩層があり、きれいな火山豆石を採集している参加者もいた。

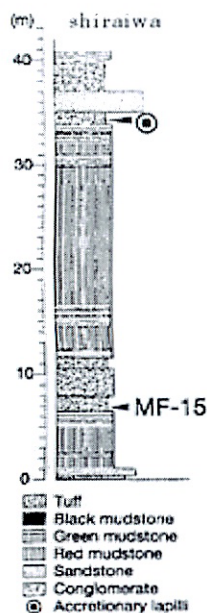


写真2 白岩の露頭写真

写真2の最上部白色層は火山豆石含凝灰岩層（人の頭部が左図のMF-15に相当、●が豆石層）

図2 白岩の露頭の柱状図（池上ほか、2007を改編）

③ 旧七滝小学校

敷地内に保管してあった天君ダム下流右岸の脊椎動物化石産地（STOP4）の岩石から小型脊椎動物化石を探す作業を行った。実際に化石を見つけた参加者もいた。

④ 天君ダム

天君ダム下流右岸には御船層群上部層中部に相当する、赤色泥岩に挟まれた灰緑色砂岩及び泥岩の露頭があり、多くの陸生脊椎動物化石を産出している。その灰緑色泥岩中には凝灰岩層が薄く挟まれているが、その直下から車軸藻の卵胞子化石や植物の根の痕跡が見つかるということだった。露頭中では卵胞子化石は直径数ミリ程度の穴として観察することができた。



写真3 車軸藻卵胞子化石採集の様子

3. おわりに

今回の巡検会に参加し、御船層群上部層の露頭観察や化石採集を行い、岩相や堆積構造などから堆積環境を推定することや、御船層群に特徴的な陸生脊椎動物化石や車軸藻化石などについて学ぶことができた。最後に、今回の巡検で資料を準備し、終始丁寧な説明をしていただいた御船恐竜博物館の池上直樹先生に感謝の意を表し、巡検会の報告とする。